

いづな

題字／原田 美哉

No. **121** / 2025.12.31



りんごっ子保育園での餅つき会。子ども達の「ヨイショ！」という元気な声が響いていました

photo／木賀田 宏之

特集

町の教育現場が 変わってきている!? 指導者から支援者へ

主な掲載記事

町の教育現場が変わってきている!?	2～5
おじゃまします・あっちこっちこの町	6
ねがい・ど～こだ!? など	7
公民館ダイアリー・お知らせ・図書室からなど	8～10
アルバムからこんにちは・さんぽ道	11
いづなレポート	12

「ど～こだ!?」では、答えを募集しています! ぜひ、ご応募ください!!

町の教育現場が変わってきている!?

指導者から支援者へ

最近、飯綱中学校の課外活動が活発になったり、生徒たち自身でイベントをやったりと以前の中学校より何だか生き生きしているような感じがしない？ 中学校の部活動が民間移行して、時間を持て余している子が増えたんじゃない？ 先生の負担は減ったかもしれないけど、子どもや親の負担は増えたんじゃない？ という話題が館報編集委員会で挙がりました。そこであるイベントをきっかけに飯綱中学校の生徒や先生に取材してみました！

編集委員 正村 明菜、宮澤 千秋、西村 啓大



この景色に見守られ
生徒たちは新しい未
来を切り拓いていく



car部



イラスト部



ダンス部



プログラミング部



Jpop部



K-pop部



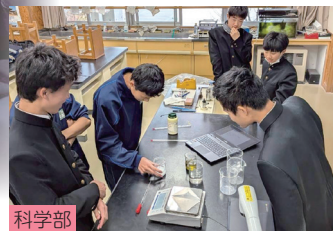
アニメ部



カードゲーム部



ドッジボール部



科学部



筋トレ部



軽音部



飯Tube部

NEW部

担当の先生と前年度の生徒会が連携して立ち上げた取り組みであり、生徒主体の活動を促進しています。

「NEW部」設立の最大の目的は、「学年内だけでなく、縦のつながりを大切にする」ことです。生徒の興味・関心を起点としつつ、異学年交流を促すことで、学校生活に新たな活力を生み出すことを目指しています。現在は、全校生徒226人、教員30人という体制の中で、生徒会が中心となり運営されています。実質的には18人の生徒会メンバーがこの活動を支えています。

活動の様子は、生徒主導で学校全体に発信されています。

参加条件 5人以上のグループで結成され、同じ学年だけの構成は不可とされています。

活動の多様性 活動内容は毎年生徒へのアンケートに基づいて更新されており、今年は13部が活動中です。

活動方針 各部の活動方針は部長の裁量に委ねられ、生徒が主体性を持って運営しています。

広報活動 前日の活動の様子をお昼の放送で流しており、映像の企画、撮影、編集といった一連の作業を全て生徒が行っています。この「NEW部」は、学校活

動の新しい形として先生方からも注目されています。

3年生の総合学習「地域貢献」

「イベントで地域を盛り上げたいグループ」と「地域の食を活かしたいグループ」が協力し、コラボレーションを実現。

住民参加型の企画と地元の特産品を使ったメニュー提供を融合させたイベントは生徒たちの主体的な活動により大成功を収めました。

指導を担当した先生は、「自分たちがやりたいことを具現化し、形に残る満足感を得ることが目的でした」と語ります。

さらに、全員をリーダーにすることで、生徒一人ひとりが強い責任感を持って活動に取り組みました。

最大の目的である「地域の皆さんとの繋がり」も達成。生徒たちは地域の生産者や商店と協力して企画を成し遂げ、地域社会の一員としての達成感を共有しました。この経験は、生徒たちの自信と社会性を大きく育む機会となりました。

地域を盛り上げたいという思いから、「自分たちがまず楽しく！」その楽しさを地域に広める活動の中心で生徒たちは大活躍しました。

◆カーフェスタ

大人顔負けの
盛り上げと車両誘導



◆りんごおやき販売

生徒の振り返り

■店番と宣伝に分かれて活動した。はじめ宣伝をやったけど、車を見に来た人がほとんどだったから声をかけるのが怖かった。ちからがめっちゃ積極的に声をかけに行っていたすごかった。

■店番では初めてやる事が多くてバタバタしてしまったけど、美味しいと言ってくれる人やこれまでの活動をまとめた画用紙を見てくれる人が多くてうれしかった。

■売り切れてしまったて試食だけ残っていたり、風船が飛んでったり色々あったけど楽しかった。

■最初は、お客さんへの対応がわからなくて、バタバタしてしまいました。でも、食品開発チーム、先生、泉ヶ丘喫茶室の植田さんと団結して、笑顔で接客をすることができました。

■イベント開始、1時間ぐらいで完売してしまいました。売り切れてしまった後、新しいお客さんがきたとき、残念そうにしていたのを見て、申し訳ない気持ちと嬉しい気持ちでした。こんなに楽しみに

してしてくれた人がたくさんいたことがわかり、りんごおやきを開発して良かったなと思います。また、植田さんがふるさと納税にできるかもとおっしゃっていたので、楽しみです。

■売り切れてしまった後は、試食用であつたおやきたちを店頭に並べました。お客さんが美味しいと言って食べていたので、本当に嬉しかったです。接客をするのは初めての経験だったけど、お客さんを笑顔にできたことは、私の中で、すごく貴重な体験でした。たくさんの人を笑顔にできる、そんな仕事に私は就きたいなと思いました。

(原望華さん)

協力者・植田麻緒さんより



今回飯網中学校の生徒さん達から『自分達の考えた商品のカタチにしてほしい』というお話をいただき、一緒に取り組ませていただきありがたうございました。中学生の

飯網町を盛り上げたいという熱い思いに感動し、アイデアや行動力に感動し、私自身もとても楽しい時間でした。みんなの思いが詰まった『りんごおやき』は飯網町の名物となり得るステキな商品なので、今後も泉ヶ丘喫茶室の商品としてふるさと納税の返礼品などに作り続けていきたいです。



校長先生

「学校って楽しい！」

私が大切にしているのは、「学校は大人ではなく、子どもたちのためにある場所」という思いです。

「昔とは違う、今の学校」

校長先生は、「私たちの時代は、先生の言うことを聞いていれば安心だった」と振り返ります。

でも、今は世界が変わり、一人ひとりの個性が大事な時代

（多様性社会）になりました。

「子どもたちの意見をしっかりと聞くこと（子どもの権利条約）」はとても大切です。学校は、子どもたちの声で社会を変えていく時代だと思います。

もし、生徒同士でA案とB案で意見がぶつかったら、どちらかに決めるのではなく、「みんながやりたいことを実現できる、Cという新しいアイデア」を一緒に作り出すことを目標としています。

「言えない子の声も大切に」

意見を言うのが苦手な子にも、「やってみてどうだった？」

と後で聞く機会を設けています。

自分の意見を持ち言える子はもちろん居ますが全員という訳ではないので、他の先生や時には保護者の方とも連携を図りひとりでも多くの生徒の話を吸い上げたいと思っています。学校で経験し、その結果難しかった場合は改善と一緒に模索し、楽しかった場合は成功体験へ繋がります。

全員が参加できるようにアンケートを定期的に行い、声をあげれない子たちの声にきちんと耳を傾け嫌な事楽しいことをしっかりと集めます。

教頭先生

「長期県外派遣教員として赴任した福井県の中学校での経験が私に多くの刺激を与えてくれました」

私は自分の経験や知識に基づいた「正しさ」を強く信じていました。しかし、日本中から集まった教育者や、福井の質の高い教育環境を目の当たりにし、「自分が信じていた教育だけが教育ではない」ということを知ることができた。これが私のキャリアにおける「転機」です。

この経験により、物事を一つの角度から突き詰めるだけでなく

く、多角的に見つめ、一人ひとりにあった学びの方法を提案する重要性を感じました。

これまでの教育は、元々持っている力を、十分に発揮できずに終わることが多かったと思います。

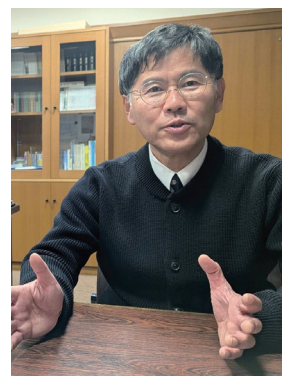
近年では「知識を教える」から、「元々の力を引き出し育て輝かせる」時代へと変わってきました。

具体的に、私たちは「自由進度学習」を通じて、すべての子どもたちを主役にします。できる子は更に多くを学べるように、苦手な子には納得し次に進めるサポートをして生徒全員が学習することを楽しいと感じられるように学校での教育を工夫

「シンプルなお思い、やはりこれが原点」

長野県の教育の方針も変わり、学校全体で生徒の声に耳を傾けるようになりました。

「学校をとにかく楽しくして、生徒が毎日笑顔で来れる場所にする！」



「誰もが幸せを感じる team づくり」

生徒はもちろん、先生たち自身も「幸せを感じる学校」であることが、とても大事なことです。そして、学校が地域社会と深く連携し、「飯綱町の幸せの拠点」となれるよう、保護者や地域の方々を巻き込んだ教育の環境を目指しています。



編集後記

「大人の都合」ではなく、生徒一人ひとりが「やりたいこと」を選び、自信を持って活動できる、そんな温かい学校を目指し、更にはその思いが地域に広がり飯綱町全体が楽しくなれるような学校を目指しています。

社会環境が大きく変化している中、今回飯綱中学校では学校活動の新しい形を生徒自らの手で立ち上げたことを知り頼もしいなと思いました。「昔とは違う今の学校」を歩み出しているのだと感じました。

カーフェスタのポスターには「中学生がつかぬ人と町」とあり、会場のりんごおやき販売ブースには「地域を活性化し飯綱町の皆さんを笑顔にしたいです」とかかれていました。このことばには心を打たれました。

学校や家庭だけでなく地域の大人が良き理解者となり社会全体で応援していきたいと思いました。





新装開店！ 町民会館図書室

去る10月11日に図書室が新装オープンしました。場所は牟礼村時代の大浴場があった場所です。以前から大浴場をどうするかというのは懸案事項でしたが、それと同時に図書室も手狭

になり、また、2階は使いづらいつの指摘もあり、新築するの、ほかの手段によるのか、検討が続けられていました。令和6年に大浴場を改築し図書室にするの方針が決定さ



窓から山並みがよく見えます



多角形の書棚を導入しました

れ、ワークショップを開いて参加者からアイデアを募りました。その中で、半円形の部屋を生かすべく、多角形の書棚を導入しました。

室内は明るく、窓からは飯縄山、戸隠山、黒姫山、妙高山がよく見えます。利用した方からは「明るくてきれいになりましたね」などの感想をいただいています。今後は2階の機械室だった場所を閲覧室として机といすを入れ、中高生の自習室などに活用したいと考えています。

今回は児童書の移転オープンでしたが、現在、残りの図書に移設に向けて1階の会議室を改装中です。完成後は館内西寄りに図書室が整備され、和室会議室が洋室（机と椅子）の会議室となります。皆さんもぜひご利用ください。

（高橋 弘之）



タイトル／
近藤 理香

□マンを感じる神社です

No.84

飯綱町で、地区の名前が付かない神社が（〇〇社は除き）二社あります。そのひとつが黒川の大宮神社です。境内は広くないのに「大」きい「宮」というからは、何かそれにふさわし



初雪が残った朝の大宮神社

いことがあるに違いないという家族の推しもあり、調べてみました。創立年は不詳ですが、平安時代の天徳四年頃から地区の守護神「黒川郷大宮諏訪社」として信仰を集めたと言われています。幕末の火災で、社殿とともに社記や神宝、祭器は焼失してしまいました。

拝殿から鳥居を通して遠望すると、矢筒山に突き当たります。この位置関係が示すとおり、大宮神社は島津氏（矢筒城主）の守り神だったようで、総大宮神社とも呼ばれました。また、「大宮の大杉」といわれた大木があり、その空洞はなんと畳四枚分にもなった

という伝承があります。これらのことと、神社の東に広がっていた桜林の風景を合わせて想像すると、美しくて霊験あらたかな感じがします。

もうしばらく先ですが、桜の時期になればその名残を感じられると思います。「神代桜」の名を持つツエドヒガンが出迎えてくれますので、ぜひ訪れてみてください。

（仲俣 茜）

ほっこりばなしを書いています。が、「ほっこりした話し」を書けず公民館行事で感じたことを書いています。

今「いいづな歴史ふれあい館」で特別展「飯綱町を編集する『公民館報いいづな』の20年」を行っています。飯綱町が誕生しての20年の歴史が分かる企画です。その中で面白いのが公民館報No.41号の表紙の写真と同じアングルで撮影された20年後の写真が展示されています。同じ場所、同じバイクを置いて、おばあちゃんとお孫さんの写真です。是非見ていただきたいと思います。20年の移り変わりがよくわかります。

この企画展をご覧いただき、これまでを振り返り、これからの飯綱町を想像して欲しいと思います。

ねがい

116

みんなちがって、
みんないい

私と小鳥と鈴と 金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、

す。来年2月までに来館され、企画展のクイズに解答された方には「特製みつどん缶バッジ」を差し上げています。

また今回の館報でも紹介されていますが「町民会館図書室」が一階に新装オープンしました。毎年11月に図書館まつりが行われていて、今年は231名という多くの方がみえました。私も本の福袋（ポップは涙線崩壊と書いてありましたが）を借りて読みました。普段、体を動かしても本に触れる機会はないので良かったです。絵本も沢山あるので多くの子どもさんが利用しています。知り合いに連絡をしたりして、広く町民の方に図書室を利用してもらいたいと思います。本を読んで経験したことのない体験や考え方を学び、自分の引き出しを増やしてもらいたいと思います。きつと「ほっこりした気持ち」になりますよ。

（公民館長 浅岡義樹）

たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい。

動物の権利もあり、ひよつとしたら物、静物にもなにかしらの権利が有るのかも。AIのある人権カリキュラムの最後に、学校組織全体での取り組み、校長がリーダーシップを発揮し、学校の実態に即した教育目標を立て、教職員一体となって人権教育を推進すると有りましたが、垂流的に書かれている（隠れたカリキュラム）意図的ではない学校生活の体験から学ぶことの方がしっくり来て、私の推しです。教え込むには向かない事ではないかと。みんなちがって、みんないい。

（社会教育委員 大川千恵子）

120号「ど〜こだ!?!」答え

みつどんのお家の庭の水飲み場。

■下の二次元コードを読み取ると120号の答えの位置図が表示されます。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。

応募様式 お好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館報の感想をご記入ください。

応募先 〒389-1211 飯綱町大字牟礼1989
飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切 2月28日（土）

抽選結果 プレゼント発送をもって当選とします。

※なお、お電話での受付は行っておりません。

答えを
募集します!



photo / 入口 梓

ど〜こだ!?!

これは、ど〜どこよう。

ヒント

ちよつと季節外れですが、春はしだれ桜の小道になる場所です。
*5月頭に撮りました。

町制20周年記念 第14回町民運動会

10月12日、町制20周年を記念する町民運動会がふれあいパーク運動場において開催されました。
今年も1,100人を超える大勢の町民の皆さんにご参加いただきました。

町制20周年の記念イベントとして長野県警察音楽隊の演奏等の他、

飯綱権現太鼓の発表やラックキープレゼント抽選会もあり、会場は大いに盛り上がりしました。

最終種目の男女混合リレーでは選手はもろろのこと、応援にも熱が入り各分館席から大きな声援が飛び交っていました。

出場選手や応援してくださった分館の皆さま、運動会実行委員ほか、運動会に携わっていただいた皆さま、誠にありがとうございました。



分館対抗男女混合リレー



飯綱権現太鼓の披露

2025 図書館まつり

飯綱町民会館にて11月8日から16日まで図書館まつりが開催されました。

初日の午前中は「うちの子のお気に入り絵本おしゃべり会」でした。お子さんとそのご家族にご参加をいただき、和やかなスタートとなりました。

期間中は、毎年恒例となった本を借りた方対象の福引抽選会やブックリユース（古本市）を開催。1階の元気の館では企画展示を行い、おすすめ本の紹介をはじめ、様々な本により触れていただくために、本の福袋や、まだ誰にもページをめくられていない本の展示貸し出しを行いました。

さらに、元気の館入口前の廊下では「図書室ゆめの木」プロジェクトを実施し、来館者の皆さまに「新しくなった公民館図書室の感想」というテーマでアイデアをりんご型のカードに記入していただきました。うれしい感想も多く寄せられ、ゆめの木にはたくさんのりんごが実りました。

おすすめ本の紹介コーナーでは、町内の小・中学校・北部高校の図書委員、町民会館の職員、そして町民の皆さまが、それぞれのおすすめ本をイラストや文章で紹介してくれました。展示には紹介者の個性が表れ、多くの方に楽しんでいただけ



本の福袋



おすすめ本の紹介

町内在住の押し花アーティストをお招きし、押し花ブックマークワークショップ（しおり作り体験）も開催しました。参加者は自然素材を使った美しい押し花の作り方や、素材採集・保存のコツを学び、押し花の世界を楽しんでいました。

本年度は、例年を上回る多くの方にご利用いただきました。期間中の貸出人数は231名となり、新しくなった公民館図書室をPRする良い機会になったと思います。ご参加、ご来館いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

ました。



押し花ブックマークワークショップのようす



図書室ゆめの木

■ いづなスポーツクラブ

第19回ラージボール卓球大会

日時 令和8年3月8日(日) 午前9時～

会場 三水B & G 海洋センター体育館

チーム編成 1チームダブルス3組で男女混合とします。

募集チーム数 先着16チーム

締切日 令和8年3月1日(日) までに申込用紙を三水B & Gへ提出してください

問合せ 三水B & G 海洋センター内いづなスポーツクラブ事務局

TEL 2553-8951

■ 中学校図書館及び

公民館図書室からのお知らせ

中学校図書館・公民館図書室は、蔵書点検のため、次の日程で臨時閉館します。

● 中学校図書館 令和8年3月11日(水) から3月13日(金) まで

● 公民館図書室 令和8年3月4日(水) から3月6日(金) まで

ご利用いただいている皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

■ 令和7年度 飯綱町男女共同参画推進フォーラム

飯綱町男女共同参画推進委員会では、僧侶でLGBTQ人権活動家の西村宏堂(にしむらこうどう)さんをお招きし、男女共同参画推進フォーラムを開催します。

西村さんは、メイクアップアーティストであり、僧侶であり、LGBTQの一員でもある独自の視点で「性別も人種も関係なく皆平等」というメッセージを発信。ニューヨーク国連本部UNFPA(国連人口基金)、ハーバード大学、イエール大学、スタンフォード大学、増上寺などで講演も行い、2022年のNHK紅白歌合戦ではゲスト審査員を務めた。

今回は「アーティストとして、僧侶として、LGBTQ当事者として、『多様性』を考える」と題して講演していただきます。この機会にぜひご参加ください。

日時 令和8年2月1日(日) 13時30分開演(13時開場)

会場 飯綱中学校講堂

参加費 無料(ごなたでもご参加ください)

問合せ 飯綱町教育委員会 生涯学習係

TEL 2553-6656

図書室から



中学校図書館新着本

● ココロさえずる野鳥ノート milie

● 飼い犬に腹を噛まれる 彬子女王

● ミシンは触らないの 中前結花

● いまだ悪戦苦闘中 垣谷美雨

● 健康の土台をつくる 内藤裕二

● 腸内細菌の科学

● 再考 ファスト風土化する日本

● あなたはもう遭難している 三浦展

● ソロキャンプ大事典 羽根田治

● カメラとレンズの 野遊び夫婦

● しくみがわかる 光学入門 安藤幸司

● メスティンレシピ メスティン愛好会

● 忸度なしの栄養学 NEXTFIT kento

● 科学的に証明された すこい習慣 太百科 堀田秀吾

● 世界の一流は 「休日」に何をしているか 越川慎司

● きみのお金は誰のため 田内学

● 痛いところから見えるもの 頭木弘樹

● 自分とか、ないから。 しんめいP

公民館図書室新着本

■ 一般図書

● 世界が認めた神リカバリー 木谷将志

● 犯人と二人きり 高野和明

● 自問自答ファクション あきやあさみ

● すべての病気が防げる 青柳幸利

● 長生き歩き 母を生きのびる本 あびママ

● 赤ちゃん気質タイプ別 ぐっすりねねガイド

● すべての不調は自分で治せる 三橋かな

● 親子でつくる やさしい和ごはん 野永喜三夫

● ワンパターン献立 長谷川あかり

● はじめての 60歳からのスマホ写真 山崎理佳

● 教養としての日本改造論 茂木健一郎

● 本が生まれるいちばん側で 山口周

● ポストが怖くて 開けられない! 柏本知成

● さよならジャバウォック 伊坂幸太郎

● チェロ湖 いしいしんじ

● 山怪 青 田中康弘

● 幸せにならなかつた 田中康弘

● いいんだよ ひすいこたろう

■ 児童図書・絵本

● トットあした 黒柳徹子

● 生活すること、生きること 有元葉子

● 小食でもちゃんと 栄養がとれる食べ方 関口絢子

● となりのオハコ 高山なおみ

● ガザとは何か 岡真理

● 考察する若者たち 三宅香帆

● 不夜脳 東島威史

● メンタルを強くする生活習慣 飯塚浩

● かえでがおか農場のいちねん せん

● おなかのなかのだいそうげん たねちゃん

● ぼくのおじいさん ならんでみせます

● くも ゆげゆげゆげお

● どうぶつ すやすや

● ずるがしこいジャッカル てっぺんのたからもの

● ぴったりこ

● おいしい おのまど

● おかおあらの みーせて

● ギリギリオニギリーズ

● パンダのたこやきやさん

● 昆虫が世界をすくう!

● おかしのヒミツ研究所

● 見て楽しめる! せかいの国旗

この他、随時新着本が入っていますので、中学校図書館・公民館図書室へお出かけください

アルバム
から
こんにちは

119

あの頃の芋掘り

前号で紹介した、木賀田編集委員の微笑ましい芋掘り写真。今はなき中央保育園での一枚は、「私も見たことがある構図!」と思った方も多いのではないのでしょうか?

私もまたその一人で、実家のアルバムをひっくり返しました。そして今号の写真は、同じく今はなき西保育園での芋掘りの一枚。

子どもの頃、一生懸命抱えたサツマイ

モは、それはもうズツシリと重く、「大物を掘り当てた!」と自信満々でしたが大人になった今、この写真を見返すと、その芋は案外、標準サイズ。

アルバムはいつの時代も写真に写る顔ぶれや、土の匂いですら微かに蘇ってきます。この一枚も、懐かしい顔ばかりで、あの頃の日々をありありと思い出させてくれました。

前号では、編集者本人がどこに写っているかわかりましたか?

さて、今号の写真にも、編集委員の正村が写っています。当時を知る方は、ぜひ私の姿を探してみてください。

(正村明菜)



あの頃の芋掘り

俳句

(いづな俳友会)

令和七年十一月句会より

川辺立ち澄みし水音寒復習

清澤今朝勝

唐辛子五感温もる夕餉膳

高野 修

待ち倦む秋冷となりまた侘し

龍野 由子

手杵で測れぬ思い石露の花

田宮 秀英

寒復習掠れ声して響きけり

中嶋 良秋

生花に添へて主役の唐辛子

仲俣 一重

老いし師の声明ろうと初謡

日野 秀静

鳥さゝのまだ浅き朝寒復習

前野 泉

短歌

蛇口から流れ出る水温かく

いよいよ寒き季節近づく

坂井 寿男

山の畑長葱背負い坂下る

斜め歩きを教えし妹

武田タヅ子

もみじの手いっぱい広げて何つかむ

見るもの聞くもの初めてなれば

矢野 玲子

念願の東山魁夷の展覧会

「朝明けの潮」波の音聞こゆ

町田智頭子

さ ん ぽ 道

サッカーのお話をします。サッカーとは、足を使ってゴールを入れた回数が多い方が勝つスポーツです。色々なデータがあります。が、現在団体登録数が日本で一番多いのはサッカーです。世界でも約2億人のプレーヤーがいると言われています。日本のサッカーは世界でどのくらい強いかというと、FIFAランキングで男子は18位、女子は8位です。先日行われたキリンチャレンジカップでは、強豪国ブラジル相手に3対2で勝利しました。今までの成績では引き分けはあったものの勝利したことはなかったと記憶しています。日本のサッカーは本当に強く

なっていると思います。強くなった理由として、日本サッカー協会は代表強化、選手育成、指導者養成、普及の4つを挙げています。飯綱町にも最近是有名選手が多く来訪しています。元日本代表の石川直宏さん、同じく元日本代表で現在スペインのマジョルカ所属の浅野拓磨選手、町制20周年では元なでしこジャパンの澤穂希さん、鯨島彰さんによる記念講演が飯綱中学校で行われました。飯綱町のサッカーチームでは41人の少年少女がサッカーを楽しんでいます。目指せ未来のトッププレーヤー!!

(速水克明)

特別展「飯綱町を編集する」開催中



ぜひ自身の思い出と照らし合わせながらご覧ください

「公民館報いいづな」の20年の歴史を振り返る特別展「飯綱町を編集する」が、いいづな歴史ふれあい館（以下、歴ふれ）で開催されています。町制20周年を迎えた今年、その歩みをつぶさに取材しつづけてきた「館報」と「何かできないか」。そんな歴ふれからの提案をきっかけにこの特別展は実現しました。今回は、その展示内容と準備の舞台裏を少しだけ紹介します。

「現代は、デジタル技術とソーシャルメディアの普及によって、誰もがジャーナリストになれる時代といっても過言ではありません。そんな時代にあって、公民館報にできることは何か。公民館報の役割とは何か。

公民館報に掲載されている情報は、ほとんどGoogleには載っていません。

編集委員が町内で実際に聞き取り、取材を重ねてまとめたものであり、飯綱町民にとって最も身近で、地に足のついた情報です。

だからこそ、ときに誰かを応援したり、背中を押したりすることが出来る！

それこそが、公民館報の果たすべき役割なのではないかと私は思います。

この企画展が、歴代編集委員が紡いできた公民館報を、これからも真摯に作り続け、次の世代へつなぐきっかけや力となればと思います。

そして、公民館報と同じように、みなさまにも楽しんでいただけたら幸いです。」

今回の特別展は、普段の館報の編集同様、編集委員が展示内容を企画し、記事を作成。実際に展示するところまで歴ふれ職員のみなさんの全面協力を得て、行いました。

まず、訪れた人を出迎えるのは、これまでに発行した館報120号すべての表紙の展示です。田植えの開始や実りのようす、北信五岳の冠雪など、同じ時季に同じ題材の写真を掲載していることの多さからは、飯綱町の古き良き里山の風景がしっかりと守られていることがわかります。ぜひ、ご家族やお知り合い、馴染みの場所・風景が写っていないか眺めながら「あの時はああったね、こ



展示作業も歴ふれ職員と一緒に行いました



公民館報編集委員会

■特別展「飯綱町を編集する『公民館報いいづな』の20年」／いいづな歴史ふれあい館2階企画展示室／来年2月末まで／9時～16時30分／月曜・祝日の翌日休館／町民無料／（問合せ）同館 ☎026-253-6646（8時30分～17時15分）

うだったね」とご自身のことも振り返る機会になればと思います。

そして、館報の歴史を振り返る年表、過去に取材した方に再度話を聞いた「再び登場！あの人は今」、館報の名物企画「どここだ!?」で取り上げたポイントを町内地図にまとめた「地図で巡るどここだ!?」など、館報のこれまでがぎゅっと詰まった特別展になっています。編集委員それぞれのこだわりも詰まっています。みなさんでお出かけください。

（三原 彩音）